

令和4年9月8日

保護者様

横浜市立岡津中学校
校長 相澤 順

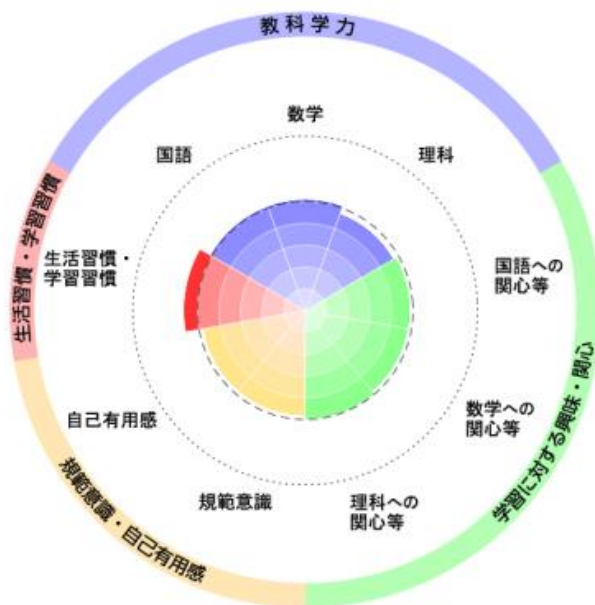
全国学力・学習状況調査 結果報告

清秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご支援をいただき感謝申し上げます。3年生対象となっている本年度の「全国学力状況調査」の本校の結果および、報告・分析についてお知らせいたします。個人票（個人結果）は先日の教育相談を通じて、担任から生徒本人へ返却済みですので、あわせてご確認をお願いいたします。

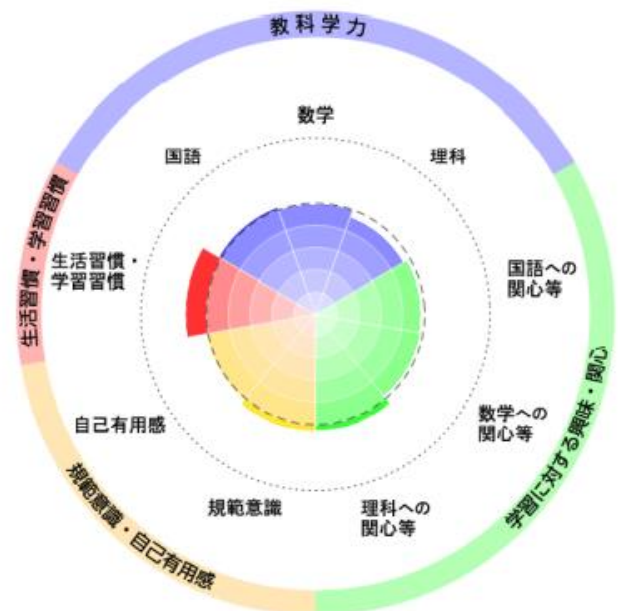
実施日時 令和4年4月19日（火）
実施教科 国語・数学・理科（・生徒質問用紙）
個人票返却期間 令和4年8月30日（火）～9月2日（金）

| 国語 | 生徒数 | 平均正答数 | | 平均正答率 (%) |
|-----------|---------|-------|------|-----------|
| 横浜市立岡津中学校 | 185 | 9.6 | / 14 | 69 |
| 神奈川県（公立） | 61,393 | 9.7 | / 14 | 69 |
| 全国（公立） | 891,820 | 9.7 | / 14 | 69.0 |
| 数学 | 生徒数 | 平均正答数 | | 平均正答率 (%) |
| 横浜市立岡津中学校 | 185 | 7.1 | / 14 | 51 |
| 神奈川県（公立） | 61,393 | 7.4 | / 14 | 53 |
| 全国（公立） | 891,913 | 7.2 | / 14 | 51.4 |
| 理科 | 生徒数 | 平均正答数 | | 平均正答率 (%) |
| 横浜市立岡津中学校 | 185 | 9.9 | / 21 | 47 |
| 神奈川県（公立） | 61,439 | 10.5 | / 21 | 50 |
| 全国（公立） | 892,585 | 10.4 | / 21 | 49.3 |

生徒質問紙(全国基準)



生徒質問紙(神奈川県基準)



【全体総括】

国語は平均的、数学・理科は平均を下回る結果となり今後の改善をはかる上で、詳細を分析し今後の指導の参考にしていきます（教科別の詳細は下段参照）。一方で、質問用紙の結果から「生活習慣・学習習慣」は全国・神奈川県平均よりも高い水準を示しています。このような結果から、学習の姿勢や習慣が十分に備わっていると考え、より一層、思考力・理解力が高まる授業展開や教科指導に努めていきます。

また、今回の調査外の教科についても、今回の傾向を分析し、生徒にとって有効な手立てや支援を工夫しつつ、各教科の授業改善や日々の教育活動にも生かしていきたいと考えます。

【国語科】全国学力状況調査分析

全国平均と自校の平均を観点別に比較した際、知識及び技能の「情報の扱いに関する事項」、思考判断表現の「書くこと」が低く、「自らの考えをふさわしい根拠をもって表現する」ことにおいて課題があることが分かります。以上の点から授業内の活動では、ふさわしい根拠を選ぶ力を身に付けさせ、自分の意見を根拠と合わせて説明する機会を増やしていきます。

また、漢字を書く問題においては、無回答率が他の問題に比べて高くなっています。漢字テストを行う際に、短期的な記憶で取り組めるような形式のものではなく、実際にその漢字を生活の中で使えるかどうかを問うような問題作りをし、必要に応じて学習の仕方も提示していきます。

【数学科】全国学力状況調査分析

全国平均と単元で比較をすると、特に「数と式」、「データの活用」分野において、正答率が1.5%程の差があり、課題があることが伺えます。一方「図形」分野においては正答率が3%も優れています。

観点別でみると、「思考・判断・表現」に課題があり、記述の問題形式の正答率からも自分の考えを記述で表現することを苦手としていることがわかります。

以上の分析から、数学の基礎・基本である計算問題を多く取り組み、基礎力を高めつつ数学的思考力を問うような課題に取り組ませていきます。

【理科】全国学力状況調査分析

正答率による全国平均と本校平均で比較をすると、「地球」分野と「粒子」分野において、5%以上の低く、課題であるといえます。「エネルギー」分野と「生命」分野では、平均程度といえます。

観点別で同様に比較すると、「知識・技能」の正答率は全国平均程度といえますが、「思考・判断・表現」は、全国平均より低い問題が多くありました。

以上の結果を踏まえ、生徒自身が身近な現象から課題を発見し、その課題を自らで解決をしていく授業を行い、論理的思考力を高めていきます。